成績の見方

（１）成績に記載されている項目の説明

単位区分：本学の授業科目は，「共通教育科目」と「専門教育科目」で編成されており，単位区分はそれぞれの科目を構成する分野あるいはテーマ名を表します。

評価　：合格は，達成度に応じてＳ（達成度９０％以上），Ａ（達成度８０％以上９０％未満），Ｂ（達成度７０％以上８０％未満），Ｃ（達成度６０％以上７０％未満）の評語により表されます。
不合格は，不可又は放棄になります。また，保留は次学期以降に再試験等を経て合格になる場合があります。

年度・期：評価された年度と学期又はクォーターを示しています。（例えば第１クォーターは「Ｑ１」と表記）
Ｑ１及びＱ２は前期，Ｑ３及びＱ４は後期となります。

（２）単位修得要件

共通教育科目及び専門教育科目の中から修得すべき単位数と卒業に必要な単位数を下表に示します。

【機械工学類】

<table>
<tr><th colspan="2">区分</th><th colspan="3">修得すべき単位数及び条件</th></tr>
<tr><td rowspan="8">共通教育科目</td><td rowspan="4">導入科目</td><td rowspan="8">46 単位以上</td><td>大学・社会生活論　1 単位</td><td rowspan="6">30 単位以上</td></tr>
<tr><td>初学者ゼミⅠ　　1 単位</td></tr>
<tr><td>情報処理基礎　　1 単位</td></tr>
<tr><td>地域概論　　1 単位</td></tr>
<tr><td>ＧＳ科目（5 群）</td><td>各群から 3 単位　計 15 単位
※ＧＳ科目３Ａプレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）は必修</td></tr>
<tr><td>ＧＳ言語科目</td><td>TOEIC 準備コース 4 単位，EAP コース 4 単位</td></tr>
<tr><td>自由履修科目</td><td>3 単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td>基礎科目</td><td colspan="2">16 単位以上</td></tr>
<tr><td>初習言語科目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門教育科目</td><td>学域ＧＳ科目</td><td rowspan="4">84 単位以上</td><td colspan="2">2 科目 2 単位</td></tr>
<tr><td>学域ＧＳ言語科目</td><td colspan="2">2 科目 2 単位</td></tr>
<tr><td>専門基礎科目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業に必要な単位数</td><td colspan="3">130 単位以上</td></tr>
</table>

※なお、4 年次での卒業研究着手には 115 単位以上修得済みであることが要件です。

【参考】「金沢大学理工学域履修案内」より

(1) 課題研究・卒業研究着手について

理工学域学生の卒業についての関門として，課題研究・卒業研究着手要件があります。理工学域規程別表第 6 にあるように，共通教育科目及び専門教育科目の必要単位数を，3 年後期（第 4 クォーター）までに修得しなければ課題研究・卒業研究着手が認められず留年となります。課題研究・卒業研究は 1 年を通じての履修となりますので，自動的に卒業が最低半年延びます。

ここで注意しなければならないことは，たとえ 1 単位不足していても，課題研究・卒業研究着手が認められないということです。

理工学域では，1 年生，2 年生，3 年生そして 4 年生と順次進級しますが，この課題研究・卒業研究着手が認められないと，いつまでも 4 年生として留年します。

大学には 8 年間在籍できますので，4 年生として 5 年間在籍できます（休学期間を除く）。しかし，形式的には最高学年になっているため，留年生は，自己の学力を過信する傾向があり，残留の年数を余計に重ねているようです。低学年での履修態度が，人生に大きく影響してしまうことを，心に記しておいてください。

（３）ＧＰＡ（グレード・ポイント・アベレージ）

ＧＰＡとは，Ｓ＝４，Ａ＝３，Ｂ＝２，Ｃ＝１，不可＝０，放棄＝０，保留＝０のグレード・ポイント（ＧＰ）から下記の式により算出した値で，履修登録した授業科目の平均的な評価を表すものです。

$$\text{ＧＰＡ} = \frac{\text{（授業科目で得たＧＰ×その授業科目の単位数）の総和}}{\text{（履修登録した授業科目の単位数の総和）}}$$

（４）成績不振者への対応

病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず，総修得単位数が８単位以下の学期が３学期以上続いた学生については，退学勧告要件に該当する者とし，学類において退学勧告実施の有無を協議の上，本人へ勧告します。

（参考：理工学域を退学した学生 100 名（勧告なしに退学した学生を含む）の各学期の平均修得単位数と退学者数）

入学年数	１年目		２年目		３年目		４年目		５年目		６年目		７年目		８年目	
学期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
平均修得単位数※※	18	12	8	7	10	5	3	2	1	1	1	1	0	1	0	0
学期別退学者数	1	19	0	11	2	6	5	13	9	10	3	8	5	7	0	1

※退学率は，理工学域在学生数の約1.2%（国立大学の平均は約1.3%）　※※平均修得単位数は，小数第１位を四捨五入